第 42 回皇后盃全日本女子柔道選手権大会　大会要項

１．期　　日　令和９年４月 18 日（日）午前 11 時 00 分開始（10 時 00 分開場）

２．会　　場　横浜武道館

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-丁目 9-10　TEL　045-226-2100

３．主　　催　公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟

４．主　　管　神奈川県柔道連盟

５．後　　援　スポーツ庁、ＮＨＫ、東京新聞・東京中日スポーツ、一般財団法人上月財団
神奈川県、公益財団法人神奈川県スポーツ協会、横浜市(予定)

６．参加選手　⑴推薦選手

①前年度優勝者、第２位

②2026 年世界柔道選手権大会優勝者

⑵地区選出選手

34 名とし、地区別の選出数は以下のとおりとする。

北海道	東北	関東	東京	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
2	2	7	8	2	2	5	2	2	2

⑶欠場の取り扱い

①推薦選手が欠場する場合は、これを補充しない。

②地区選出選手が欠場する場合

ｱ) 欠場が出た地区がこれを補充する。

ｲ) 地区が補充できない場合には、開催地区（関東）がこれを補充する。

ｳ) 欠場の補充は、令和９年４月 15 日（木）12:00 までに届出のあったものまで認める。

７．出場資格　⑴日本国籍を有し、当該年度全日本柔道連盟に登録している者。

※全柔連登録の所属名で出場すること

⑵大会当日において中学２年生以上の者。

⑶地区選出選手は、その地区を構成する都道府県柔道連盟（協会）を通して、前年度の全日本柔道連盟登録手続きを行っており、その地区において居住、勤務、在学の実態の伴ういずれかの条件を満たしていること。

⑷卒業、転勤等により、実態の伴う現住所の変更、勤務する会社、通学する学校の変更がある場合には、変更先の地区から出場することができる。ただし、この場合は速やかに登録変更の手続きを行わなければならない。

８．地区大会及び参加申込み　⑴各地区柔道連盟（連合会・協会）は、地区大会の日時・場所等が決定次第、大会事務局（講道館）まで連絡すること。

⑵各地区柔道連盟（連合会･協会）は、必要事項を記入した所定の選手名簿に地区大会の記録を添付し、令和９年３月 17 日（水）迄に大会事務局に必着するよう提出すること。

⑶選手は、令和９年３月 17 日（水）迄に全柔連 HP から参加申込フォームに回答すること。

９．審判規程　⑴国際柔道連盟試合審判規程および皇后盃全日本女子柔道選手権大会申し合わせ事項にて行う。

① 試合時間は、準決勝まで５分間、決勝戦は８分間とする。

② スコアは「一本」「技あり」「有効」の３種類とし、「技あり」２つで合せ技「一本」とする。
抑え込みの時間は、20 秒間で「一本」、15 秒以上で「技あり」、10 秒以上で「有効」とする。

③ 「指導」による罰則は、４回目が与えられた時点で「反則負け」とする。

④ 試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定にて勝敗を決する。その基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較する。攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判定の材料とはしない。

⑤ 立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む（触れる）ことは反則（指導）としない。但し、相手と組んでいない状態で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則（指導）とする。

⑥ 寝姿勢から立ち姿勢に移行したときには、「待て」を宣告して試合を止める。

⑦ 試合は、試合場内で行うものとする。立ち姿勢おいては、両足が場外に出るか相手を故意に場外に押し出した場合は反則（指導）とする。

⑧ 立ち姿勢において、標準的ではない組み方を継続する若しくは繰り返す場合は反則（指導）とする。但し、直ちに攻撃を行えば「指導」は与えない。

⑵試合場は、10m×10mの試合場内とし、周囲に 4mの安全地帯を設ける。

⑶2022 年１月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。※詳しくは別紙参照

全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。（主催者は予備の柔道衣を準備しない）

⑷また、今大会は、衛生上の理由で変更しなければならない場合のリザーブ柔道衣を主催者で用意しないため、各自で 2 着分用意することを推奨する。

10. 試合方法　トーナメント戦で行う。（敗者復活戦は行わない）

11. 組合せ抽選　令和 9 年 3 月 25 日（木）講道館において行う。

12. 選手経費　交通費および宿泊費は主催者が、規定に基づいて支給する。航空券及び特急券を含む JR 乗車券等は、主催者が手配してチケットを送付する。

※交通、宿泊の申し込み方法については、別紙申込書を参照のこと。

13. 審判会議　令和 9 年 4 月 17 日(土)17:00～18:30　横浜武道館にて行う。

14. 選手説明会　令和 9 年 4 月 17 日(土)15:00～　横浜武道館 2 階アリーナにて行う。

15. 表　彰　優勝者、2 位、3 位（2 名）、5 位（4 名）を表彰する。

16. ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ検査　本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。

17. そ の 他

⑴皮膚真菌症（トンスランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

⑵脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。

・大会前 1 ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

・大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。（受傷した時点で必ず専門医を受診すること）

・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。

・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。

⑶出場選手の傷害保険は、主催者が加入しその費用を負担する。本大会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師、看護師等の医療関係者が応急処置を行ったり、医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り主催者、医療関係者は責任を負わない。

⑷個人情報、肖像権の取り扱いについて

・参加申込フォームに記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページ、大会ホームページ、セイコースポーツリンクに掲載される場合がある。

・全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。

・大会時に撮影する映像（ケアシステム等）を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。

・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。

・参加申込フォームへの記載により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱い、及び下記に関する承諾を得たものとして対応する。

⑸大会事務局

〒112-0003　東京都文京区春日 1-16-30 講道館内
公益財団法人全日本柔道連盟　大会事業課
電話 03-3818-4392／FAX 03-3812-3995／E-mail taikai@judo.or.jp

【大会日程】

期日	時間	内容	場所
4 月 17 日(土)	14:30～ 15:00 17:00～18:30	選手受付（ID 支給） 選手説明会 審判会議	横浜武道館　2 階アリーナ 横浜武道館　2 階アリーナ 横浜武道館　2 階アリーナ
4 月 18 日(日)	09:30～ 10:00～ 11:00～ 17:30～	選手開場 観客開場 開会式 閉会式	横浜武道館